

科名 血液内科 血内133(b-2)

対象疾患名 骨髄異形成症候群

プロトコール名 ビダーザDIV(day6、7)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	6	7	...	28
1	点滴注	メイン	生食	100、250mL	ルートキープ	↓	↓		
2	点滴注	側管	パロノセトロンバック	0.75mg	30分かけて				
or									
3	点滴注	側管	グラニセトロンバック	1mg	30分かけて	↓	↓		
4	点滴注	側管	ビダーザ注	75mg/m <sup>2</sup>					
			注射用水	20mL	10分かけて	↓	↓		
			生食	50、100mL					

★1コース=28日

～MEMO～

- ・催吐レベル3(30～90%)
- ・7日間連日投与のうち2日間、21日間休薬
- ・原則として皮下投与を行うこと。出血傾向など皮下投与が困難な場合は、点滴静注を行う。
- ・ビダーザによる治療中に高度の骨髄抑制、非血液毒性が認められた場合には、減量の目安により、適切に休薬、減量or投与中止を考慮する。
- ・調製方法・・・本剤は**調製後1時間以内に投与を終了**すること。
  - 1)皮下投与
    - ①1バイアルあたり**4mLの注射用水で溶解**、激しく振り混ぜて均一に懸濁させる。
  - 2)点滴注
    - ①1バイアルあたり**10mLの注射用水で溶解**、激しく振り混ぜて均一に懸濁させる。
    - ②患者の体表面積から換算した投与量を生食50mLで希釈、調製する。